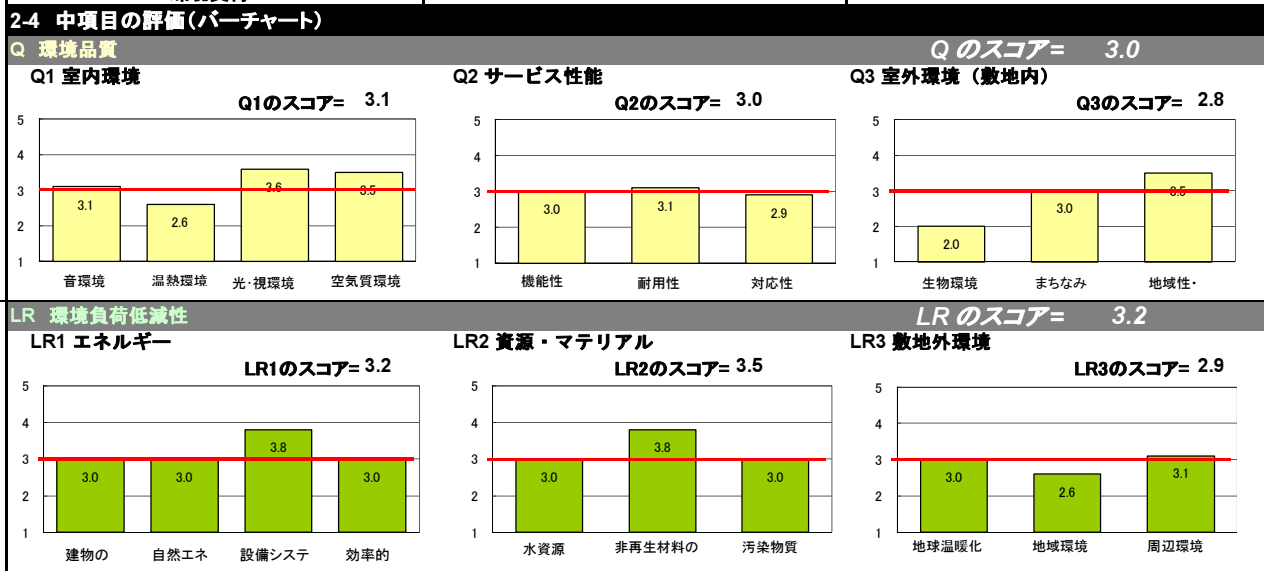
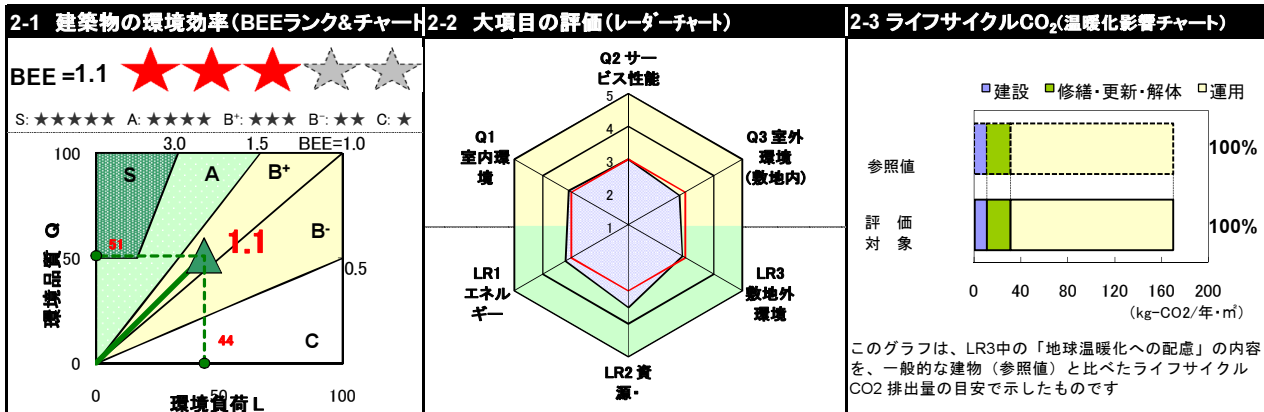


CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	信和会転換型介護老人保健施設新築工事	階数	地上4F
建設地	京都府京都市左京区田中上大久保	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	0 人
気候区分		年間使用時間	0 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年6月 予定	評価の実施日	2010年10月29日
敷地面積	1,415 m ²	作成者	野口計画管理(株) 武居浩一
建築面積	831 m ²	確認者	
延床面積	2,674 m ²		



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
バリアフリー対応、省エネルギー化、敷地外の環境へ配慮した計画とした。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
発泡ウレタン吹付により、外壁・屋根スラブの断熱を考慮。	耐用年数の長い配管材を使用。	外構及び屋上に緑地を確保。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
高効率の機器及び器具を採用する事により省エネルギー化を図る。	内外装の一部にリサイクル商品を使用。	適切な量の駐車・駐輪スペースを確保。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される